

平成30年度行政評価 事務事業評価シート(平成29年度実績)

事務事業コード	030101030	予算コード	01014400	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B		
事務事業名	戦没者援護事業	正規職員数	0.22	国庫支出金 府支出金	0 84	有効性 効率性	C C	戦没者遺族・戦傷病者援護事務に関しては、住民から身近な自治体である市の関与は必要であり、戦没者追悼式についても、一定の行政の関与はやむを得ない性質をもった事業である。戦後70年を経過し、今後、戦争を経験した人や戦没者の遺族も高齢化していく中で、戦争の被害を風化させないことや平和の大切さを啓発する機会でもあり、本事業は現状を維持しながら継続して実施していくことが妥当であると考えられる。			
担当課	障害福祉総務課	嘱託職員数	0	臨時職員数	0.1						
法定受託事務		歳出(千円)		市債	0						
■法律・政令・省令		歳出(千円)		その他	0						
根拠法令等	戦没者等の遺族に対する特別弔慰金支給法 他	入会費総額	1,894	一般財源	2,360	妥当性	A				
				減価償却費	0						
				事業費	550	受益者負担	該当なし				
事務事業類型	運営事業	フルコスト(千円)	2,444	緊急性		D	事務事業実施内容				
実施手法	市直営	市民1人当たりコスト(円)	24				戦没者追悼式は、例年通り10月に開催。戦没者・戦傷病者援護事務に関しては、請求期限が時効を迎えるものがあり請求指導の件数が増加。遺族会の支援についても例年通り理事会開催のサポート及び活動補助を実施。				
対象		活動指標	H29実績								
不特定の市民	対象数	戦没者追悼式									
戦没者追悼式は市民全般に、戦没者・戦傷病者援護事務は施策対象者		戦没者・戦傷病者援護制度申請経由事務									
事業の内容											
戦没者援護事業として以下の業務を行っている。 ①市主催の戦没者追悼式（例年10月実施：泉の森セレクションホール（平成22年度までは小ホール）） ②恩給等申請経由事務（国の法律により事業量が増加する。平成27年度は特別弔慰金の申請受付（約700件）） ③その他遺家族の援護事務 ④遺族会理事会開催関係事務											
		成果指標	H29実績								
		戦没者追悼式参列者	91.0								
		戦没者・戦傷病者援護制度申請受付等事務（特別弔慰金含む）									
			40.0								
		コスト指標	H29実績								
		戦没者追悼式参列者 1人当たり経費	8,187.0								
		戦没者・戦傷病者援護制度申請等事務 1件あたりの入会費	33,145.0								
事業の目的											
戦没者の御靈を追悼し、平和の大切さを啓発する。											
戦没者遺族・戦傷病者援護事務（恩給・給付金・弔慰金等の申請事務等）による福祉の向上。											